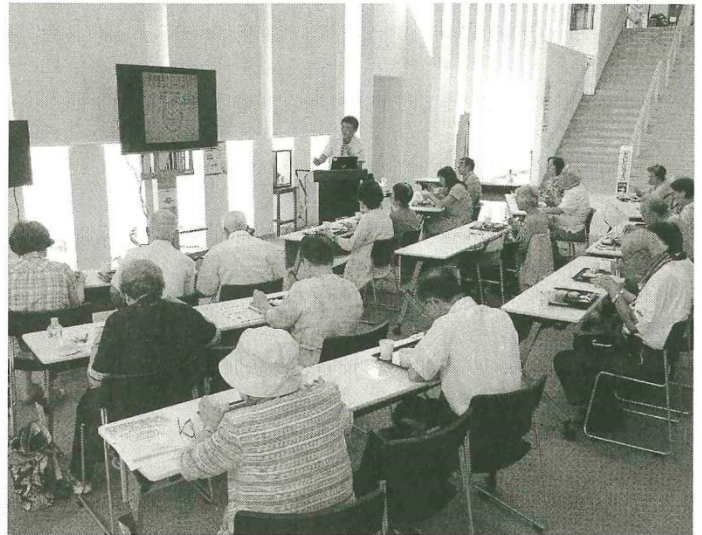


糖尿病学会教育 関連施設に認定

製鉄記念
室蘭病院



「日本糖尿病学会教育関連施設」に認定された製鉄記念室蘭病院—8月28日、糖尿病教室

若い医師受け入れ養成へ

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)が、日本糖尿病学会教育関連施設に認定された。同病院は「糖尿病専門医を目指す」若い医師を受け入れ、養成に努めたいとしている。

日本糖尿病学会が認定する「教育関連施設」は、常勤の糖尿病専門医がいる、糖尿病の専門外来がある、管理栄養士による食事指導や糖尿病患者教育の実施などが必要と

いう。

同病院は今年4月に「糖尿病内科」を新設。さまざまな合併症を抱える糖尿病患者への専門的な治療の強化をはじめ、合併症の予防、病診連携などを図るため、在籍する糖尿病専門医の専門性をさらに生かせる態勢とした。

「教育関連施設」認定を受け、同病院は研修医への専門的な指導のほか、地域住民に向けた糖

尿病教室を積極的に開催するなど、予防や啓発の観点に力を注いでいく。来年度には「認定教育施設」への認定を目指す方針だ。(松岡秀宜)

糖尿病教室 28日に開催

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は28日午後3時から、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで「糖尿病教室」を開催する。医師の講義や、イスを利用した運動

などを通して糖尿病に理解を深める。参加無料。同病院リハビリテーション科理学療法士の青木伸さんが「自宅でできる!イスを利用した運動」を紹介。同病院循環器内科・糖尿病内科の飛澤利之医師が「糖尿病」をテーマに解説する。同病院では「当日はジョーギーなど動きやすい格好で、水分補給用の飲み物を持参して参加を」と呼び掛けている。問い合わせは、同病院経営企画課、電話0143・47局4404番へ。